



都市のレイヤー

都市において存在する道の多くでは、人と車が同じレイヤーの中に存在している。人は信号機によって動きを拘束され、狭い歩道を歩かされ、車に鉢合わせすると道路端に追いやられる。より早く、より遠くへ。交通インフラの果たす役割は大きい。しかし、都市の中において本来人間の持つべきヒューマンレベルの活動の在り方はもっと違った次元にあるのではないか。例えば車道の上に人だけが利用できる場所があるとすれば。そんな、人のための新たなレイヤーを都市に重ねてみた。

ハイウェイ上部、そして下部を空間として利用できるという部分をポジティブに捉え、元ある車道上部に人のためのハイウェイを掛け渡す。上部に生まれた空間を人に利用してもらう事で車両と人の関係性を逆転させる。それを連続させ元ある両端に存在する歩道と繋げる事で周辺建物への関係性も構築される。

